

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間かわたび
ほっかいどう令和6年6月17日
北海道開発局

川の中の生きものを調べてみませんか

～令和6年度 全国水生生物調査の参加者募集～

北海道開発局における令和6年度全国水生生物調査の参加者募集についてお知らせします。
令和5年度調査には、2,788人の方に参加していただきました。令和6年度も多くの方の参加をお待ちしております。

環境省と国土交通省では、水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するとともに、環境問題への関心を高めるため、一般市民等の御協力を得て全国水生生物調査を実施しています。

河川に生息するヒラタカゲロウ類、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、その川の水質汚濁の影響を反映することから、水生生物調査は、実際に川の中に入って採取した水生生物により水質の判定を行うもので、誰でも簡単に参加できる調査です。

調査への参加を希望される方は、別紙の「全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問合せ先」までご連絡ください。

令和5年度の調査結果（北海道開発局関係分）は、資料-1、資料-2をご覧ください。

また、全国の調査結果は、国土交通本省及び環境省から発表されています。（資料-3）
詳細は国土交通省のホームページをご覧ください。

（国土交通省 報道・広報URL）

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000237.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 河川管理課 低潮線保全官 熊谷 彰浩（内線 5323）

建設部 河川管理課 低潮線保全係長 岡林 肇（内線 5970）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問合せ先

令和6年度も下記の河川において、市民の方々の参加を得て全国水生生物調査を実施します。
各河川の調査時期・場所等については下記の担当課までお問い合わせください。

河川名	部局名	担当課	電話
	北海道 開発局	建設部 河川管理課 〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目	011-709-2311
石狩川(下流)	札幌 開発建設部	公物管理企画課 〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目	011-611-0328
後志利別川	函館 開発建設部	工務課 〒040-8501 函館市大川町1-27	0138-42-7604
尻別川	小樽 開発建設部	工務課 〒047-8555 小樽市潮見台1丁目15-5	0134-23-5195
天塩川(上流) 石狩川(上流)	旭川 開発建設部	公物管理課 〒078-8513 旭川市宮前1条3丁目3-15	0166-32-1487
鷓川 沙流川	室蘭 開発建設部	治水課 〒051-8524 室蘭市入江町1-14	0143-25-7045
釧路川	釧路 開発建設部	治水課 〒085-8551 釧路市幸町10丁目3	0154-24-7250
十勝川	帯広 開発建設部	治水課 〒080-8585 帯広市西5条南8丁目	0155-24-4105
網走川 常呂川 湧別川 渚滑川	網走 開発建設部	治水課 〒093-8544 網走市新町2丁目6-1	0152-44-6471 0157-23-6118
留萌川 天塩川(下流)	留萌 開発建設部	治水課 〒077-8501 留萌市寿町1丁目68	0164-43-5515

令和5年度全国水生生物調査の概要（北海道開発局関係分）

（1）調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としました。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定しました。

（2）調査結果

○参加者数

令和5年度の参加者は、2,788人でした。

参加者数	2,788人
参加団体数	53団体
調査地点数	45地点

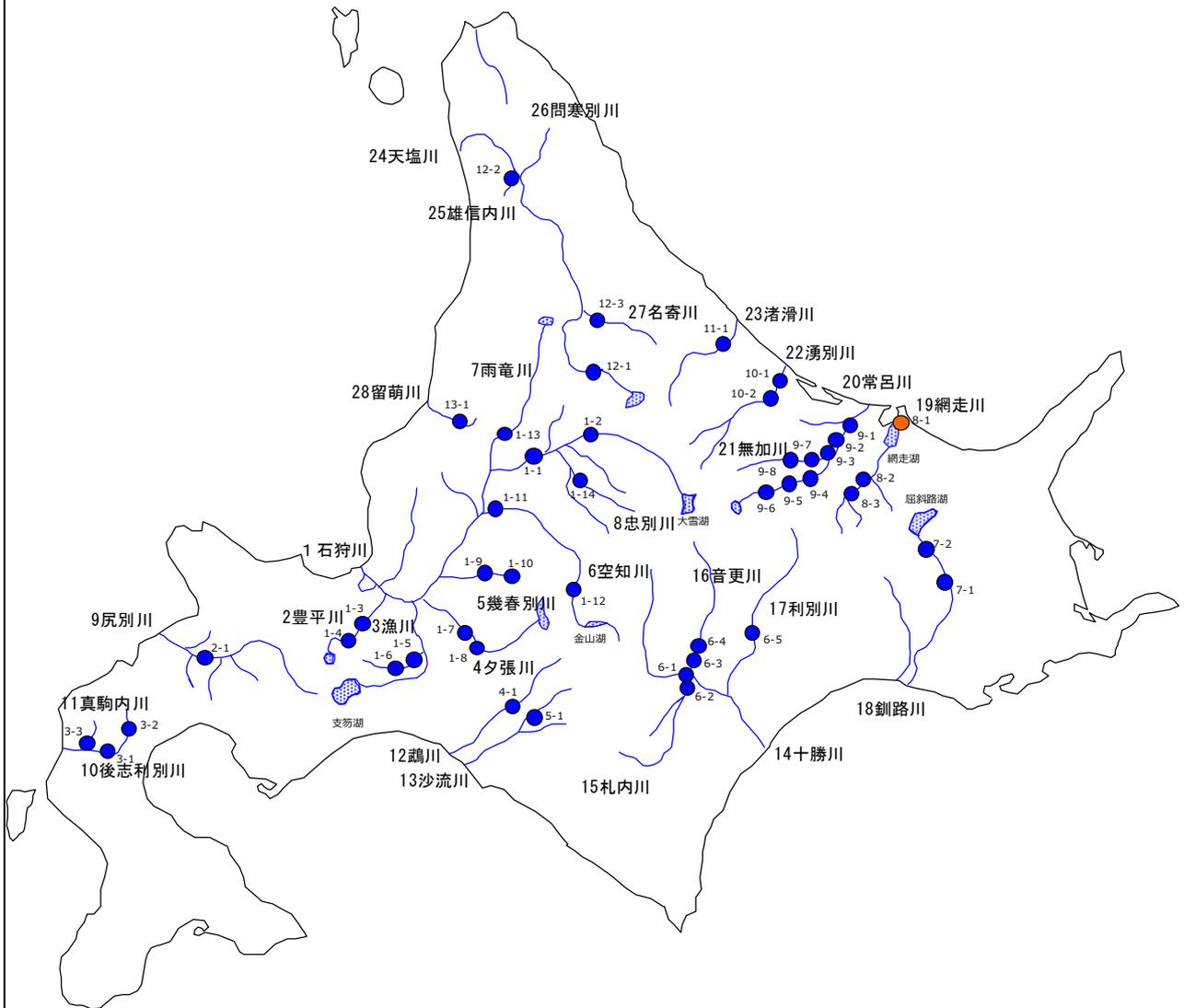
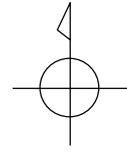
○水質判定結果

令和5年度は、全調査地点の98%の地点で「きれいな水」と判定されました。

		地点数	全調査地点における割合
Ⅰ	きれいな水	44地点	98%
Ⅱ	ややきれいな水	0地点	0%
Ⅲ	きたない水	1地点	2%
Ⅳ	とてもきたない水	0地点	0%
	計	45地点	100%



令和5年 水生生物調査地点位置図<北海道>



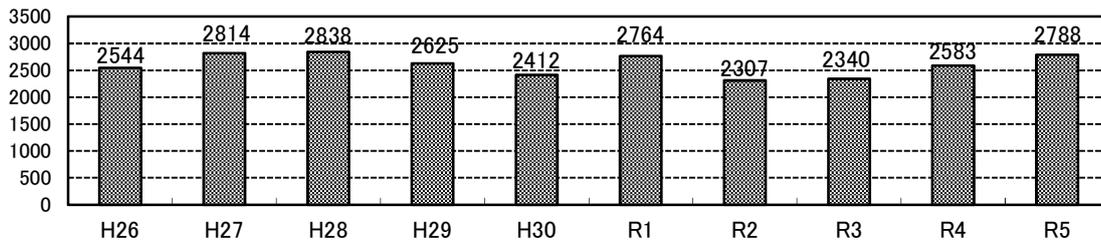
水質階級	記号
I. きれいな水	● (Blue)
II. 少しきたない水	● (Green)
III. きたない水	● (Orange)
IV. とてもきたない水	● (Pink)
判定不能	● (Brown)

令和5年度全国水生生物調査結果（北海道開発局関係分）

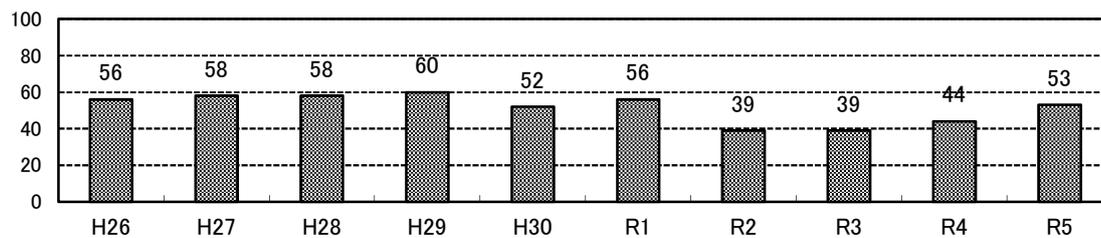
1. 参加人数及び団体数

令和5年度の参加人数は、延べ2,788人となりました。参加団体別参加人数は小学校が最も多く、次いで高校の順でした。

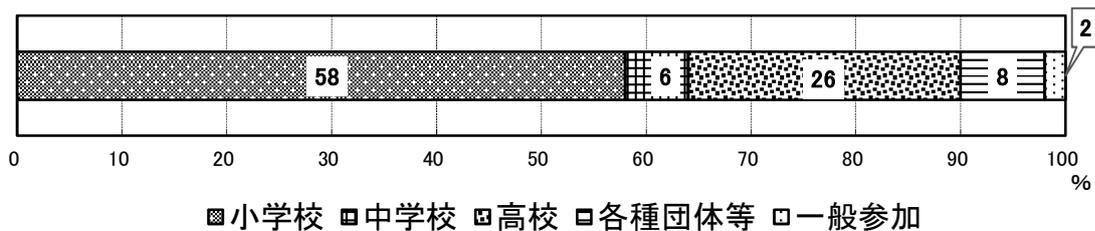
○ 参加人数の推移



○ 参加団体数の推移



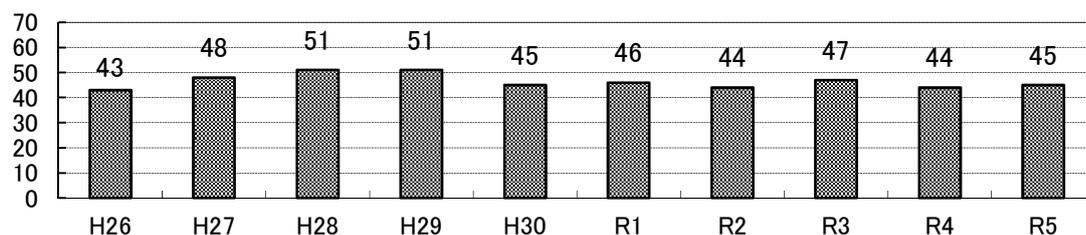
○ 参加人数の団体別構成比



2. 調査地点数

令和5年度の調査地点数は45地点でした。

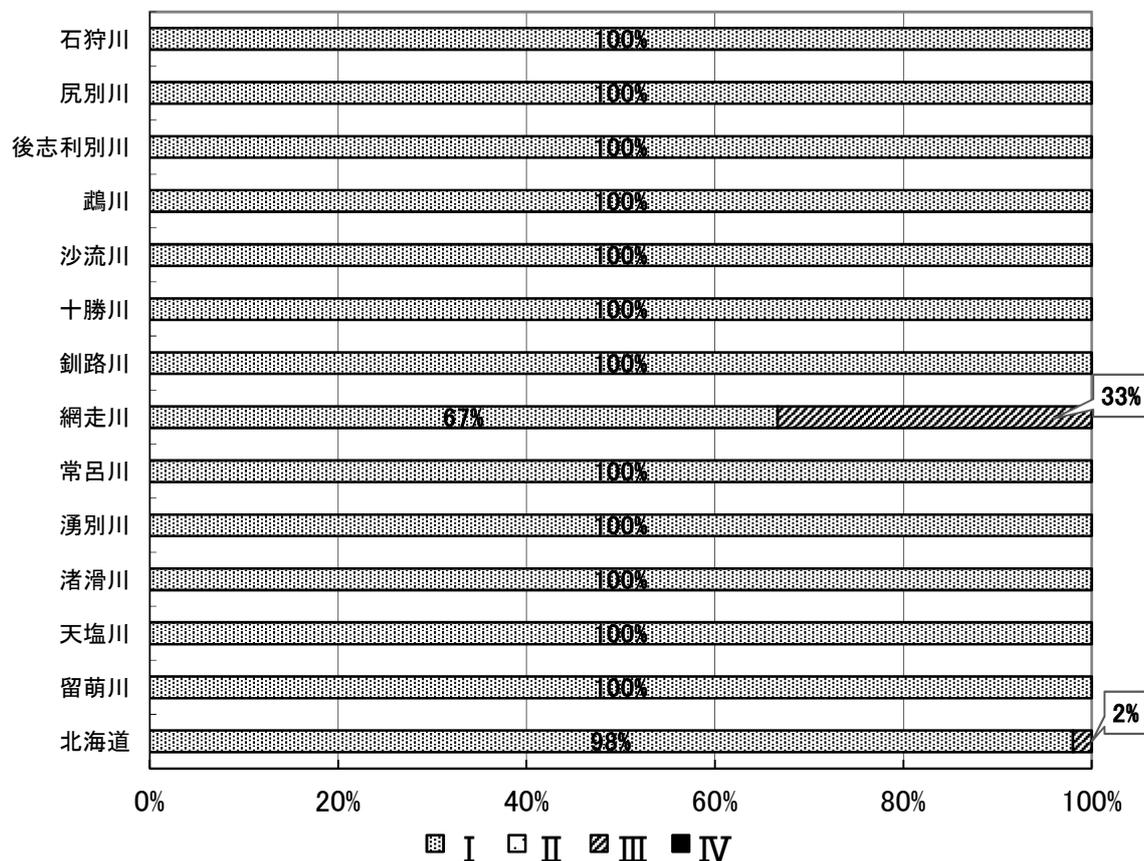
○ 調査地点数の推移



3. 河川別水質階級構成（地域別の水質の状況）

令和5年度は、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が98%、Ⅲ（きたない水）が2%、Ⅱ（ややきれいな水）及びⅣ（とてもきたない水）に判定された地点は確認されませんでした。

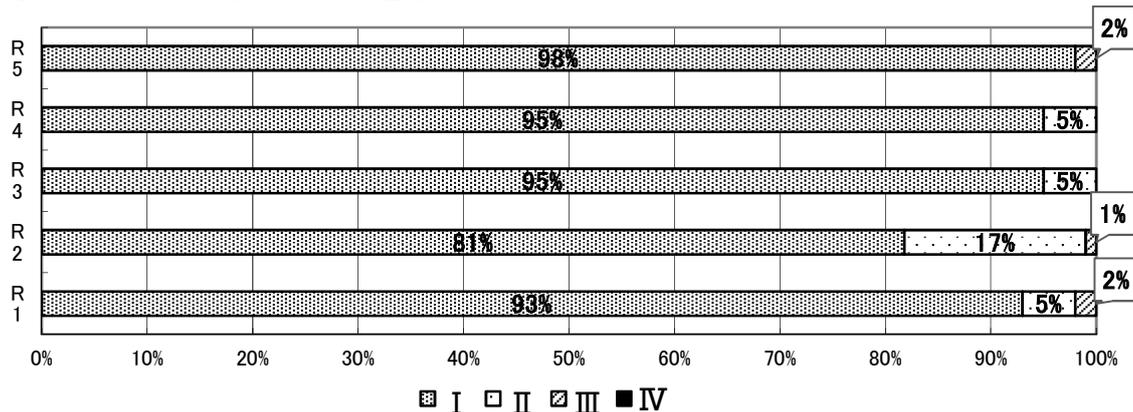
○河川別の水質階級構成



4. 水質階級構成比の年次推移

過去5か年の推移を見ると、水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点は、令和2年度を除き9割以上を示しています。

○水質階級構成比の年次推移



同時発表：環境省

令和6年6月11日
水管理・国土保全局河川環境課

川の生きものを見つけよう！ ～令和6年度全国水生生物調査を実施します～

国土交通省と環境省では、川の生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、地域の皆様のご協力をいただいて『全国水生生物調査』を実施しています。

令和6年度も、夏休み期間を中心に調査を実施しますので、是非ご参加下さい。また、令和5年度の結果をとりまとめましたので、お知らせします。

※開催日や場所等の詳細については、各地方整備局等又は各都道府県の環境部局までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

- 各地方整備局等の窓口（一級河川国管理区間に関するもの）
http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/toiawase.html
- 各都道府県の環境部局（上記以外）
https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html

【全国水生生物調査とは】

(1) 調査概要

- サワガニ、カワゲラ類等の川の水に住む生きもの（水生生物）が生息しているかどうかで水質を判定
- 子どもたちにもわかりやすく、特別な機材を用いないため、誰でも簡単に参加可能
- 身近な自然環境に接することで、身近な環境問題への関心を高めるきっかけ
- 昭和59年度から国土交通省・環境省が実施

(2) 調査方法

- 河川に生息する水生生物のうち、[1]全国各地に広く分布し、[2]分類が容易で、[3]水質に係る指標性が高い、29種の指標生物を調査
- 河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定
- 川の生きものを調べよう ー水生生物による水質判定ー [調査テキスト]
https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/suisituhantei/text.pdf

(3) 調査期間

7～8月を中心に実施



【令和5年度 調査結果概要】（詳細は別添をご覧ください。）

○参加者数・参加団体・調査地点数

令和5年度の参加者は36,905人（令和4年度34,745人）でした。

	参加者数	参加団体数	調査地点数
一級河川国管理区間	12,565人	331団体	386地点
その他の河川※1	24,340人	761団体	1,092地点
合計	36,905人	1,092団体	1,478地点

※1：一級河川都道府県管理区間及び二級河川等（一級河川国管理区間以外）

○水質判定結果

令和5年度は、全調査地点の89%の地点で、Ⅰ（きれいな水）又はⅡ（ややきれいな水）と判定され、令和4年度（88%）より1ポイント高くなりました。

	一級河川国管理区間	その他の河川	全調査地点
Ⅰ きれいな水	74%	65%	67%
Ⅱ ややきれいな水	23%	22%	22%
Ⅲ きたない水	2%	6%	5%
Ⅳ とてもきたない水	1%	3%	2%
判定不能	1%	4%	4%

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがあります。

※判定不能：指標生物が見つからなかった場合等

【お問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

課長補佐 阿河 一穂（内線 35441）

係長 木村 ほのか（内線 35482）

TEL 03-5253-8111（代表）、03-5253-8447（直通）

環境省 水・大気環境局 環境管理課環境汚染対策室

課長 鈴木 清彦

主査 宮本 有樹

担当 新津 雅美

TEL 03-3581-3351（代表）、03-5521-8314（直通）

令和5年度全国水生生物調査結果

1. 参加人数及び参加団体数

令和5年度の参加人数は36,905人であった。
 うち、一級河川国管理区間は12,565人であり、
 その他の河川※1は24,340人であった。また、参加団体数は
 1,092団体で、うち一級河川国管理区間は331団体であった。
 参加団体別の参加人数は小学校での参加が最も多く、
 次いで各種団体、中学校の順番であった。
 都道府県別の参加者数では岐阜県が最も多く、次いで
 岩手県、北海道の順番であった。

※1 一級河川都道府県管理区間及び二級河川等
 (一級河川国管理区間以外の河川、以下「その他の河川」という)

参加者数の多い都道府県

順位	都道府県名	参加人数	うち 一級河川 国管理区間
1	岐阜	3,989	303
2	岩手	3,704	88
3	北海道	2,792	2,788
4	福島	2,194	88
5	島根	1,881	1,778

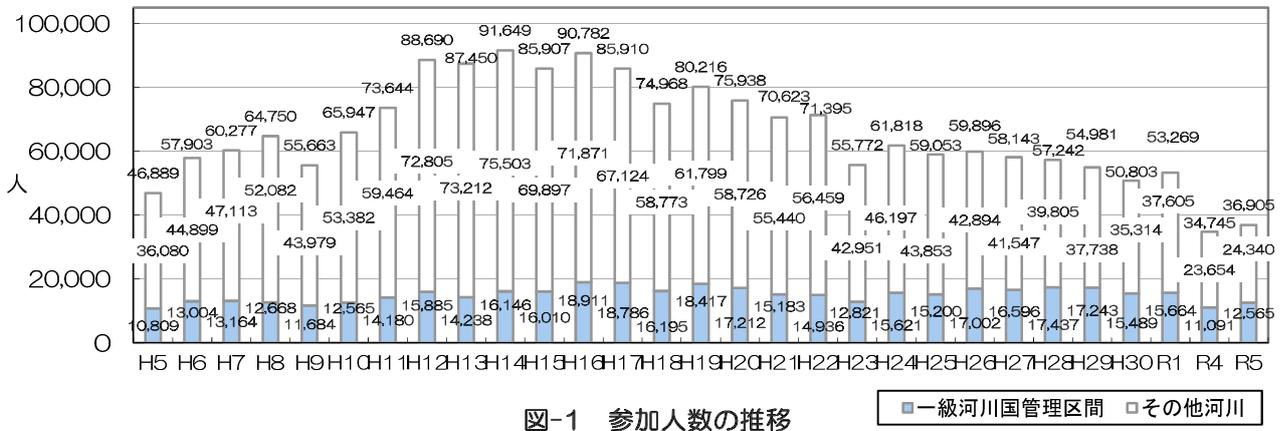


図-1 参加人数の推移

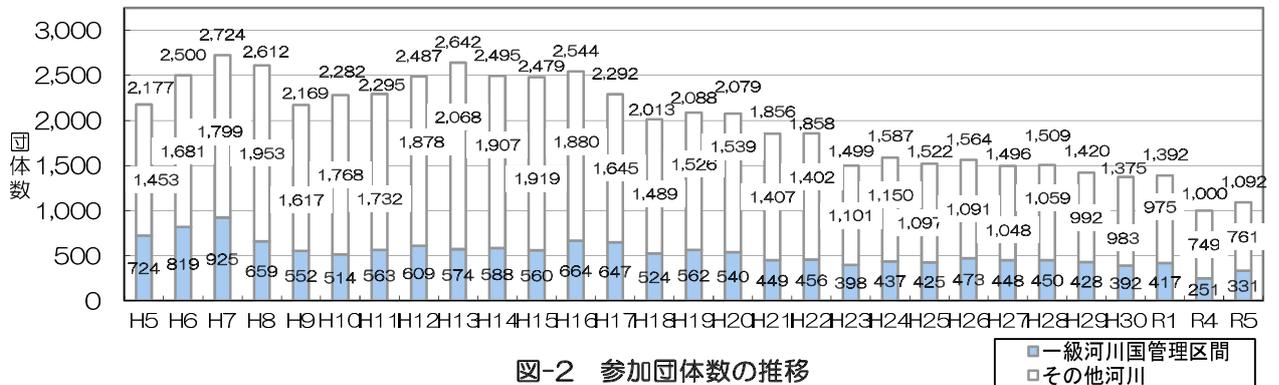


図-2 参加団体数の推移



※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

図-3 参加人数の団体種類別構成比

2. 調査地点数

調査地点数は1,478地点であった。

内訳は、一級河川国管理区間は386地点、その他の河川は1,092地点であった。

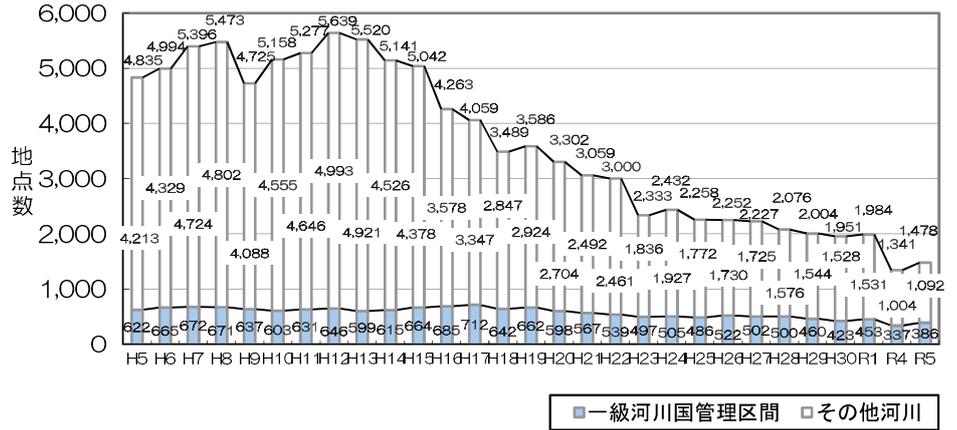
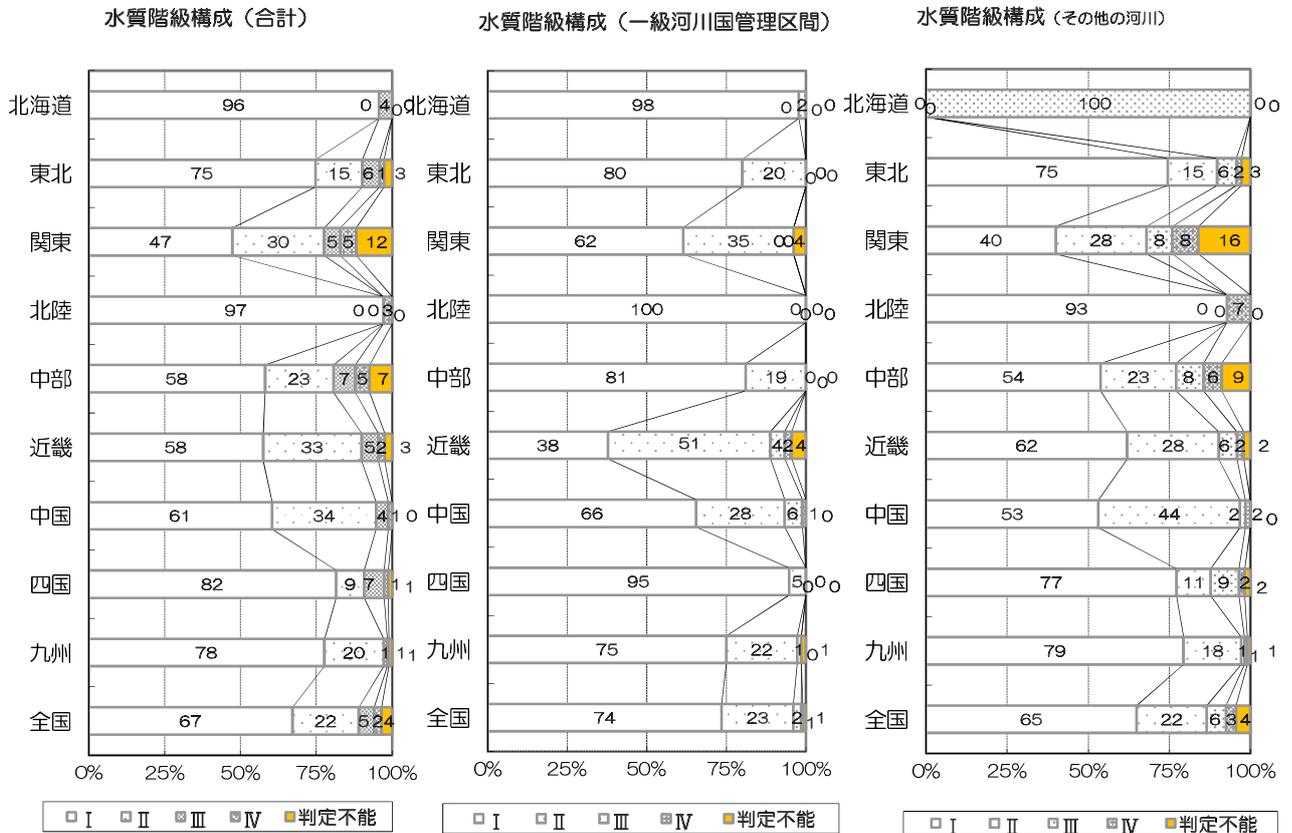


図-4 調査地点数の推移

3. 地域別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、調査地点を参加者が任意に選定するため、我が国の河川の状況を正確に代表したものではない。しかし、多数の地点で調査されているため、全国の水質の状況を概括的に知ることができると考えられる。

令和5年度は、全国で水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が67%、Ⅱ（ややきれいな水）が22%、Ⅲ（きたない水）が5%、Ⅳ（大変きたない水）が2%であった。



※判定不能の数値ラベルは図中に表示していない。
四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

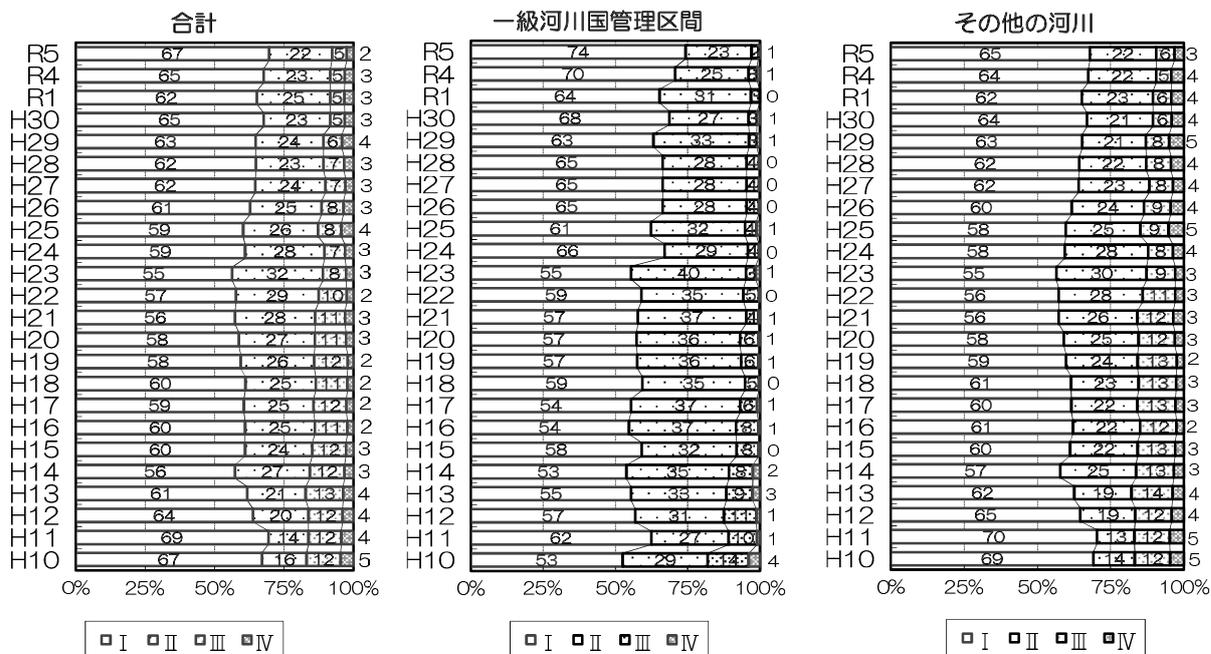
図-5 地域別水質階級構成比

4. 水質階級構成比の年次推移

全国的全調査地点の水質階級構成比を図6に示した。

平成11年度をピークに、I（きれいな水）と判定された地点の割合は減少傾向にあったが、平成14年度以降は55～67%前後でほぼ横這いとなっている。本年度は、I（きれいな水）と判定された地点の割合は前年度より2ポイント高い67%であった。

なお、年次ごとの調査地点については相違しており、必ずしも同地点を比較したものではない。

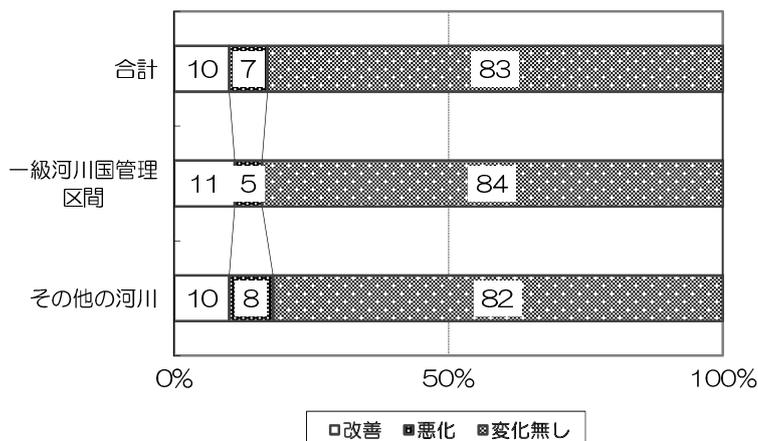


※1 判定不能地点の扱い及び四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。
 ※2 平成12年度から調査手法を変更しているため、平成12年度と平成11年度以前との厳密な比較はできない。

図-6 水質階級構成比の年次推移

5. 前年度（R4）との比較

前年度と同じ地点で調査された629地点について比較すると、10%の地点が改善、7%の地点が悪化、83%の地点が同じ水質階級であった。



※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

図-7 同一調査地点での昨年度との比較